



えい!



玉入れやでえ

エピソード

数日前から5歳児が、園庭の中央にある伏見スライダーの上からカラーボールをたくさん転がして遊んでいた。3歳児はそのボールを拾い、上にいる5歳児に投げてやり取りを楽しんでいました。この日も転がってきたカラーボールを見つけて、伏見スライダーの下に集まってきました。伏見スライダーの上には、5歳児のお兄さんが数人おり「今日はここに入れてー」と、カゴを見せて声をかけてくれました。3歳児の子ども達は、かごを狙い、ジャンプしたり、伏見スライダーの滑る所にもたれたりするなどして、腕を伸ばして「えい!!」と投げます。「玉入れやでえ」「惜しい!もうちょっと!」などと5歳児が声をかけ、ボールが入るようにと腕を伸ばしてカゴを近づけてくれます。3歳児は夢中になってカゴに入れようとしていますが「ちょっと休憩タイムやで」の5歳児の声に3歳児も休憩し、「始めるよ」の言葉で再スタート!5歳児のリードと一緒に楽しく遊びました。

保育者の思い

- 園庭のいろいろな遊具や用具に興味をもって遊んでほしい。
- たくさんのカラーボールに魅力を感じ、触ったり集めたり投げたりして楽しんでほしい。
- 3歳児は、5歳児の優しい声かけを頼りに遊び始めていることを大切に関わりをもって遊ぶ楽しさを味わってほしい。
- 「玉入れ」などの言葉や5歳児の声掛けを聞いて、いろいろな言葉を知ってほしい。
- また遊びたいと、親しみをもって遊ぶことを楽しみにし、いろいろな友達に興味をもってほしい。

子どもの育ちや学び

- たくさんのカラーボールの魅力を感じ、集めたり触ったりすることを楽しみました。
- 伏見スライダーの上にいる5歳児が優しく声をかけてくれたことから、夢中になって一緒に楽しく遊べました。
- 体を大きく動かして、カゴを狙って投げることができました。

家庭だったら・・・

- 子ども達は、いろいろな遊びの中で遊具や用具と出会います。「やってみよう」と興味をもって手に取るよう瞬間の子ども達の表情に注目してみてください。